

事 務 連 絡
平 成 2 5 年 8 月 3 0 日

独立行政法人日本原子力研究開発機構 御中

文 部 科 学 省
研究開発局原子力課

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」をご参照願います。

課題名	日本アクチノイドネットワークによる原子力人材育成
実施機関	独立行政法人日本原子力研究開発機構
実施期間	平成22年度～平成24年度

【評価結果】

B	ほぼ計画通りの成果があげられた
---	-----------------

【審査評価委員会所見】

＜推奨意見＞

●アクチノイドと言う核燃料、再処理、地層処分に係る原子力技術の基礎・基盤となる科学に関し、若手原子力人材育成を目指した事業であり、サマースクール、ウインタースクール、海外派遣、欧州 ACTINET との交流等を計画的、組織的に進めたことは評価できる。特に、学生のみならず社会人の若手研究者の積極的参加がみられたことは、関連企業からの関心の大きさを表しており、貴機関でしか実施できないアクチノイドを用いた実習等の継続を大いに期待する。

●アクチノイドの物理的性質や化学的特性を計算科学として追及することも実習させ、かつ実習用のテキストを発展させたものを書籍として出版したことは重要な成果であるといえる。

●核燃料サイクル政策が不透明さを増している中、アクチノイド研究には光が当たりにくくなっているが、どのような政策方針が出されるにしても重要な分野であるため、今後も当該分野での人材育成の取組継続に期待する。

＜今後への参考意見＞

●資源でもあり厄介な廃棄物でもあるアクチノイドの研究なくして、原子力の存続はありえないという“重要性”をしっかりと幅広く理解させた上で、当該分野の研究開発は今後の発展性の可能性が期待される“魅力”ある分野であることを、若い世代に効果的に伝承する取組に、より一層努めて頂きたい。

●海外派遣事業の成果評価と今後の人材の活用については検討が必要であり、また、海外派遣者の報告会については、学会の場を利用するなど、より多くの参加者が見込めるように工夫して頂きたい。

●国内の学生の育成に力を注ぐことも大切だが、欧州との連携を基盤とした国際的な社会人教育に重点化し、結果的に国内学生の関心を高めていくという戦略についても、今回の成果を踏まえて検討して頂きたい。